令和 4 年度 宝木中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 「人間尊重の教育を基盤に、知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、心身共に健康で知性と創造性に富み、心情豊かでたくましく未来を拓く人間の育成」
- (2) 具体目標（具体的な生徒像）
- ① 気力・体力のあるたくましい生徒（たくましく）
 - ② 自ら学びよく考える生徒（さとく）
 - ③ 心豊かで礼儀正しい生徒（あかるく）
 - ④ 協力し社会に役立つ生徒（いきいきと）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は○子どもたちにとって安心して楽しく充実した学びができる場所であること⇒（行きたい学校）

○教職員にとって働き甲斐を感じながら意欲的に取り組むことができる場所であること⇒（勤めたい学校）

○保護者、地域の皆様から信頼される場所であること⇒（通わせたい学校）

このような学校を目指し、信頼と心の触れ合いを基盤とした豊かな人間関係に支えられた「ぬくもりと夢のある学校」づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領や第 2 次宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特色を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図り、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
- (3) 生徒理解を基盤として生徒指導の充実を図るとともに、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育し、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳科の充実を図り、生徒一人一人の道徳的実践力を高めるとともに、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- (5) 家庭との連携を強化し、健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康に生活していく基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 校内の事務の効率化や簡略化等を図り、生徒に向き合う時間の確保と教職員の負担軽減に努める。
- (8) 児童生徒の 9 年間の成長を見通した小中一貫教育を推進し、学校園で共通理解を図りながら宝木地域学校園が目指す心豊かな生徒の育成に努める。
- (9) よき伝統や地域の特色、教職員の創意工夫を生かした SDGs の取組など特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、魅力ある学校づくり地域協議会を効果的に活用し、生徒の地域行事への協力やボランティア活動を通して、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

[宝木地域学校園教育ビジョン]

テーマ「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指します。

他を思いやる心や規範意識を育み、基本的な生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実

4 教育課程編成の方針

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。
- (2) 小中学校の連携を図り、生徒会や各教科の出前授業などの交流を継続する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【 学 校 運 営 】・全教職員が学校の課題を共通認識し、課題解決のためにチームとして取り組む協力体制の確立
○生徒の学力向上を目指し、教員の授業力向上並びに学業指導、キャリア教育の推進
- 【 学 習 指 導 】○授業のねらいに基づいた振り返りと自主学習ノート等の活用による家庭学習の習慣化
・学校課題に即した研究授業や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 【 児 童 生 徒 指 導 】○自己肯定感や自己有用感を育てるとともに、よりよい人間関係づくりと不登校対策の推進
・問題行動の未然防止と早期発見
- 【健康（体力・保健・食・安全）】・危険の予測や危機回避能力の育成を図る安全教育
・感染症予防や食育を通じた健康で安全な生活習慣の確立

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	①「主体的・対話的で深い学び」の実現を進めるために、単元の学習の、どこで見通しを立てる活動を入れるか、どこで話し合い活動を入れるかを考慮して、単元の計画を立てて、実行する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。（+7.4ポイント） 【次年度の方針】 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を進めるため、話し合い活動を積極的に取り入れられるよう、授業の年間指導計画のさらなる見直しと授業改善を図る。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①道徳の授業では、資料提示と発問の工夫を行い、判断力等が高められるようにしていく。 ②日々の授業や学校行事などで、友達と互いのよさを感じられるような活動を取り入れ、思いやりや協働する心を育てる。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。（+12.7ポイント） 【次年度の方針】 ・道徳の授業や学校行事など、あらゆる場面で、友達と互いの良さを認め合えるような活動を実践する。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	①学年学級委員会などと協力し、授業開始のチャイムが鳴る前に自ら着席するなど、時間に余裕を持って行動できるよう指導する。 ②ネットトラブル防止に関する指導を、全体及び学年ごとに実施する。また、保護者会の機会を捉えて情報提供し、理解・協力を要請するとともに、小学校との連携も強化する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。（+5.4ポイント） 【次年度の方針】 ・生徒会を中心とした、きまりやマナーを守るための主体的な活動を支援する。 ・道徳・学活の授業等で、情報モラルを身に付ける授業を実践する。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上	①年間を通して生徒会を中心にあいさつ運動を行い、あいさつの大切さを気付かせる。 ②「茶道教室」を通して、礼儀作法の大切さに気付かせ、真心を込めてあいさつができるよう指導する。 ③道徳の授業で言葉づかいやあいさつに表れる人間関係や自身の心のありようをじっくり見つめ直すことの大切さを指導する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。（+6.5ポイント） 【次年度の方針】 ・「茶道教室」や道徳の授業等、あらゆる場面であいさつのおお切さを気付かせるとともに、生徒会主体で行っているあいさつ運動の充実を図る。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①学校行事や部活動を通して最後まで粘り強くやり通す力がつくように適切な目標を設定させ、有意義な体験ができるように支援する。 ②家庭学習の適切な目標を設定するために自主学習シートを適時使用し、毎日自主学習を提出させることで計画的に学習する習慣を育成する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。（+4.0ポイント） 【次年度の方針】 ・部活動や家庭学習などで、目標を達成するために粘り強く取り組むことができるよう指導していく。
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①スタンダードダイアリーに掲載されている「元気っ子生活習慣チェック」表を活用し、振り返りをさせながら、健康の重要性を啓発し、自己管理能力を育成する。 ②事前に必要な知識を教え、生徒が自分の判断で避難行動ができるよう、計画的な避難訓練を実施する。 ③「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減できるよう、指導を継続していく。	A	【達成状況】 数値目標を達成した。（+14.8ポイント） 【次年度の方針】 ・健康・安全教育の充実を図り、生徒が自らの判断で感染症等の予防や避難行動ができるよう計画的に指導していく。 ・食育や体育的活動の充実を図り、自分に合ったバランスの良い食生活を意識すると共に、体力増進に努めるなどして、健康的な生活ができるようにする。

<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①キャリアパスポートを活用し、学習したことを積み重ねていく過程で振り返りや反省を繰り返すことにより、学習した内容の深化を図り、進路に関する目標を考えさせる。</p> <p>②地域学校園で「キャリア教育の指針」を作成し、小学校と連携してキャリア教育を行う。</p> <p>③地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動やボランティア活動に参加するよう、教室へのチラシ掲示や、生徒会からの働きかけを行い、社会貢献を積極的に行う態度を育成する。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋4.0ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・キャリア教育の充実を図り、進路に関する目標を明確にしていく。 ・ボランティア活動に参加できる機会を与え、社会貢献を積極的に行う態度を育成する。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①英語の授業で Small Talk を継続し、英語でやり取りする活動の場を作る。</p> <p>②授業以外で ALT と生徒が直接コミュニケーションをとる機会を増やすために、休み時間や清掃の時間等にも ALT が生徒と積極的にかかわれる場面を設定する。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－0.4ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度は、年度途中に ALT 不在となったために出た結果と思われる。次年度は英語の授業や休み時間等で英語を使う場を増やすことができるような工夫に取り組む。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①断郊協歩大会において、大谷資料館や多気山、市美術館を見学し、宇都宮の歴史や文化を体感して学ぶ機会を持ち、俳句作りや振り返り等で深化を図る。</p> <p>②総合的な学習の時間の年間指導計画に、宇都宮学を位置づけ実践するなど研究を深める。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋5.1ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・断郊協歩大会を通して、宇都宮の歴史や文化を体感し、総合的な学習の時間の「宇都宮学」を深めていく。</p>
<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①タブレット端末の授業での利用方法を研究し、効果的な活用を図る。</p> <p>②「AIドリル」で家庭学習を行うなど家庭学習においてもタブレット端末の積極的な活用を図る。</p> <p>③図書室にある授業で使用する資料を各教科で活用するために、単元ごとにまとめて配置をし、学習で活用しやすくなるように工夫してカリキュラムの中に位置づける。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋0.2ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・授業でのタブレット端末の効果的な利用方法研究を継続し、活用を図る。 ・自主学習ノートだけではなく「AIドリル」を活用した家庭学習も行えるよう、各教科での活用を促す。 ・図書室にある資料を授業で活用するために、カリキュラムの中に位置づける。</p>
<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①福祉委員会を中心に、宝木荘へビデオレターなどの交流を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てる。</p> <p>②活動の様子を生徒会新聞、Lロードの掲示、学校だより、HP等を活用して情報を発信する。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋12.7ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・福祉委員会を中心とした老人ホームとの交流を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てる。</p>
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①SDGsの取組を、教科横断的な視点で各教科の関わりを検討し、カリキュラムの中に位置付ける。</p> <p>②環境ISOを通して、資源のリサイクルやエネルギーの節約を、生徒会活動として行う。</p> <p>③生徒会委員会を活用し、移動教室時における消灯や冷暖房の電源断を行わせたり、現況を生徒会朝会等で発表させたりして、持続可能な社会についての関心を高める。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－1.9ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・SDGsの取組を、各教科でも学習できるよう工夫する。 ・生徒会各委員会を活用し、日常的に行う活動を通して「持続可能な社会」への関心を高める。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①毎週の教育相談部会、及び校内支援委員会(年3回)を通して、一人一人の教育的ニーズを把握する。</p> <p>②特別支援小委員会やケース会議を適宜開き、チームで方向性を協議しながら支援を行う。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+17.2ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員間の連携を図りながら、一人一人の教育的ニーズを把握し、支援を行う。</p>
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上</p>	<p>①道徳・学活の年間指導計画に、いじめ根絶に向けた授業を年4回位置付け、実施する。</p> <p>②5月、9月、12月、2月に「いじめの調査」を実施し、未然防止、早期発見・早期対応、に努める。</p> <p>③「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+5.0ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・道徳・学活の授業で、いじめ根絶に向けた授業を実施する。 ・「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①挨拶、励まし、賞賛等の言葉かけや、生徒が活躍できる場面を設定し、学級が生徒の居場所となるような温かい雰囲気を作る。</p> <p>②スタンダードダイアリーを活用し、生徒理解を深めるとともに、日常的な生徒の観察を充実させる。</p> <p>③意図的・計画的に教育相談を実施し、配慮生徒への支援を行う。(ケース会議・チーム対応)</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+20.0ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き教育相談体制を充実させるとともに、日常的な生徒の観察を強化し、教職員で連携を図りながら配慮生徒への支援を行う。</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①該当生徒・保護者と面談し、個に応じた支援をチームで検討し、実践する。</p> <p>②日本語指導ボランティアを含めたチームで個別の指導計画を作成し、実態に応じた支援に当たる。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+12.2ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・該当生徒・保護者と面談し、個に応じた支援をチームで検討し、実践する。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①各種学校行事において、生徒会や学級委員長を中心に、生徒の主体的活動を積極的に取り入れ、リーダーの育成を図るとともに、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。</p> <p>②Q U等を活用し、学級での潤滑な人間関係づくりができるよう個々に応じた指導や相談を行う。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+1.0ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・各種学校行事等において、リーダーの育成を図り、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。 ・Q U等を活用し、個々に応じた指導や相談を行う。</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①授業で本時のねらいの提示と、生徒各自のふり返りを確実に実施する。</p> <p>②一人一授業を少人数グループで実施し、授業後のグループでの意見交換会の他に、全体研修会を持ち、授業力の向上を図る。</p> <p>③OJT 機能を使い、重点的に若手教員の授業力向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+6.8ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・授業で本時のねらいを提示し、生徒が授業のポイントを捉えて授業を受けられるようにする。また、授業の振り返りを行うことで、家庭学習で確認すべきことをはっきりさせる。 ・一人一授業公開をし、意見交換を行うことで教員の授業力向上を図る。 ・OJT 機能を使い、若手教員の授業力向上を図る。</p>

<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①教育相談及び生徒指導会議で今後の指導の手立てや方針を確立し、組織的な対応に努める。特別支援コーディネーターを中心に、SC、SCM、との連携を密にする。</p> <p>②各教科ごとに教職員間で情報交換する時間を定期的に確保し、教職員の授業力の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋14.4ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種部会及び会議等のみならず、日々の報・連・相を含めたコミュニケーションを通して、教職員の共通理解を図る。また、様々な課題に対して、教職員が連携し、組織的に対応できるようにしていく。
<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「業務を精選・効率化して退勤時刻を早める」という発想から「退勤時刻を決めて、その時刻に間に合うように業務を精選・効率化する」という発想に転換するための工夫をする。</p> <p>②文書の保管場所を設定するとともに、データの保存場所を整理する。</p> <p>③仕事の効率化のため各教科の物品や行事等で使用する物品の保管場所を整理し、機能的な環境をつくる。</p> <p>④会議の効率化のため、早めの起案を心掛け、要点を整理して提案する。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－5.0ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用を充実させ、業務の精選・効率化を図る。 ・文書やデータ、各教科の物品などの整理を行い、機能的な環境整備に努める。 ・会議の連絡事項については、朝の打合わせや掲示板の利用など、別の手段で簡潔に伝達できるようにし、会議内容の精選に努める。
<p>A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①地域学校園各部会の取組について、部会報告及び地域学校園だよりに掲載し、全職員に配布するとともに地域学校園掲示板に掲示する。</p> <p>②生活面学習面での連携をとり、小学校の学習と中学校の学習につながりを持たせる。【あいさつ運動、家庭学習等】</p> <p>③地域学校園の中学校から小学校への乗り入れ授業を実施するとともに、小学校と中学校で相互に授業参観を行う。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－5.7ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校園各部会の取り組みの中で、小中合同で行っているものを意識させていく。 ・生活面や学習面で、小学校と中学校のつながりを持たせ、地域学校園の連携を深める。
<p>A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①断郊協歩大会を行い郷土の自然や風景に接し、これらを末永く大切にしようとする心を育てる。</p> <p>②かまどベンチを利用した防災教育を実施し、地域防災に対する意識を高める。</p> <p>③茶道教室を通して礼儀作法の学習を行う。</p> <p>④ふれあい文化教室を通して日本の伝統的な楽器演奏を体験する。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋17.2ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断郊協歩大会や防災教育等を地域の協力を得ながら行い、特色ある教育活動を展開していく。
<p>A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「茶道教室」、「働く人に学ぼう」など、総合的な学習の時間において地域の人材を活用する。</p> <p>②学力向上のための「放課後自習支援」や「防災教室」などにおいて地域の人材に協力を求め、学校教育を推進する。</p> <p>③「理科における博物館との連携授業」、「放課後の高校説明会」など、関係機関や企業等と連携した活動を行う。</p>	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋17.2ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防災教室」や「茶道教室」、「働く人に学ぼう」を通して、地域の人材を活かし、よりよい生徒の育成を目指す。

	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①毎月の安全点検を確実に実施し、学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、修繕箇所の早期改善に努力する。</p> <p>②適切な感染症対策を実行する。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋20.0ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全点検を確実に実施し、修繕箇所の早期改善に努力する。 ・適切な感染症対策を実行する。 ・危機管理マニュアルを元に安全教育の年間計画を見直し、計画的に実行する。
	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①授業や家庭学習において積極的にICT機器が利用できるよう、タブレット端末の効果的な活用法について研究を進める。</p> <p>②ICT機器を授業で利用しやすいように、使いやすさに配慮した適切な管理を行う。</p> <p>③司書教諭・学校図書館司書と各教科担当が連携し、各教科に必要な図書を整備する。</p>	B	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋17.2ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭学習においてデジタル教科書やAIドリルを積極的に利用できるよう、タブレット端末の効果的な活用法について研究を進める。 ・司書教諭・学校図書館司書と各教科担当が連携し、各教科に必要な図書を活用する。
<p>本校の特色 ・課題等</p>	<p>B1 生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションや学級活動の時間で、学年の学習係や学級担任から説明する。</p> <p>②自主学習ノートの形式を工夫するなどし、生徒がねらいをもって自主学習に取り組めるように継続して指導する。</p> <p>③自主学習ノートを定期的に点検し、家庭学習の向上に繋がるよう啓発、指導をしていく。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋8.9ポイント)</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」を年度初めのオリエンテーションや学級活動の時間で生徒へ配付し、学年の学習係や学級担任から説明する。保護者にも「家庭学習の手引き」を配付し、家庭と学校で連携を図る。よって、次年度は保護者も評価対象者に加える。 ・自主学習ノートを定期的に点検し、自分の立てた目標を達成するために粘り強く家庭学習に取り組めるよう啓発、指導をする。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 数値指標については、ほとんどの項目で上回っており、概ね目標に達したと考えられる。
- ・ 市内中学校平均と本校前年度比から見ると、教職員、地域住民、児童生徒において半数以上が上回っているが、保護者は半数以上が下回っている。しかし、保護者の下回り項目のうち、5ポイント以上下回っている項目は1項目のみであり、概ね、充実した教育活動が展開されていると考えてもよいと思われる。
- 特に「学校のいじめ対策」については、教職員、保護者、地域住民、児童生徒すべてにおいて市平均及び前年度比より上回っている。学校での生徒と教職員による取り組みもさることながら、地域学校園ぐるみで「いじめゼロ標語コンクール」を各校で統一して実施し、優秀作品は立看板にして街頭に掲示していることも、高評価の一因であると考えられる。
- ・ 今後は、保護者のみが下回り項目が多い現状に鑑み、対応を考える必要がある。

7 学校関係者評価

- ・ 数値指標を大きく上回った項目や、肯定的回答率が高い項目が多く、教育効果が高いことがうかがえる。
- ・ マネジメントの結果から、学校のいじめ対策が向上していることが分かる。地域ぐるみでいじめ対策に取り組んでいきたい。
- ・ 生徒の肯定的回答率が高い項目が多く、コロナ禍でありながら、生徒自身が充実、安心、満足して学校生活を送れていると思われる。教職員も同様で、働き方改革の上昇率は特にすばらしい。引き続き取り組んでもらいたい。また、市内中学校平均と本校前年度比において、保護者が半数以上下回っている点については、これらの取組を、保護者にも分かってもらいたいと感じる。コロナ禍でもあり、保護者が学校の様子を見る機会が少なくなっていることが大きな要因ではないか。また、その他、保護者の期待が大きいこと、保護者と学校の考え方の相違、なども予想される。学校からの各種たよりは充実している。学校での活動内容をもう少し詳細に伝えるためには、PTAの広報活動の充実、学校だよりの地域回覧などの方法もある。
- ・ 発達段階もあると思うが、小学校は保護者の回答に数値指標を設定している項目が多い。いくつかの数値指標項目を保護者に設定することについて、検討してもよいと思う。
- ・ SDG'sの取組が指標より低いのは気になる。

- ・ 登下校時、社会体験学習、登下校ボランティア活動時の際、生徒は交通ルールを守り、元気よく笑顔であいさつしてくれる。とても気持ちがよい。(多数)
- ・ 部活動に活気があふれていて、頼もしい。
- ・ コロナ禍以前は地域のまつりや体育祭に生徒がボランティアで参加してくれた。次年度以降、地域行事が復活することを望む。
- ・ その他の気になる点としては、冬場夕方の門付近の暗さ、体育館トイレの古さ、教室のモニターが外の光に反射しての見づらさ、などが挙げられる。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・ アンケートの結果から、令和4年度の学校経営については概ね良好であり、目指す生徒像に迫る教育を推進できたと考えられる。
 - ・ しかしながら、数値指標は概ね良好であるものの、前年度比や市平均との比較においては、教職員・児童生徒が今年度の上回りが多いのに対し、保護者は反比例しており、教職員・児童生徒と保護者との認識の違いがうかがえる結果となった。
 - ・ これは、学校での取組について、保護者への周知が不足しているのか、学校外から見るとまだまだ取組に不十分な点があるのか、もしくはその両方が原因だと予想される。
 - ・ 今後は学校の取組について、学校HPや各種たより、保護者会を通して周知をさらに徹底させるとともに、本アンケートの結果を踏まえて、これまで以上に学校教育の取組充実を図っていく。
- また、地域の方からも、上記学校関係者評価にあるとおり、概ね肯定的な意見をいただいている。特に、生徒のあいさつについては、多数のお褒めの言葉をいただいた。一方で、貴重な改善すべきご意見もいただいている。今後も地域協議会主催の防災教室等を推進するなど、地域との連携をより強化しながら、地域学校園の小中で連携した9年間を見据え、「たくましく」「さとく」「あかるく」「いきいきと」した生徒育成に取り組んでいく。